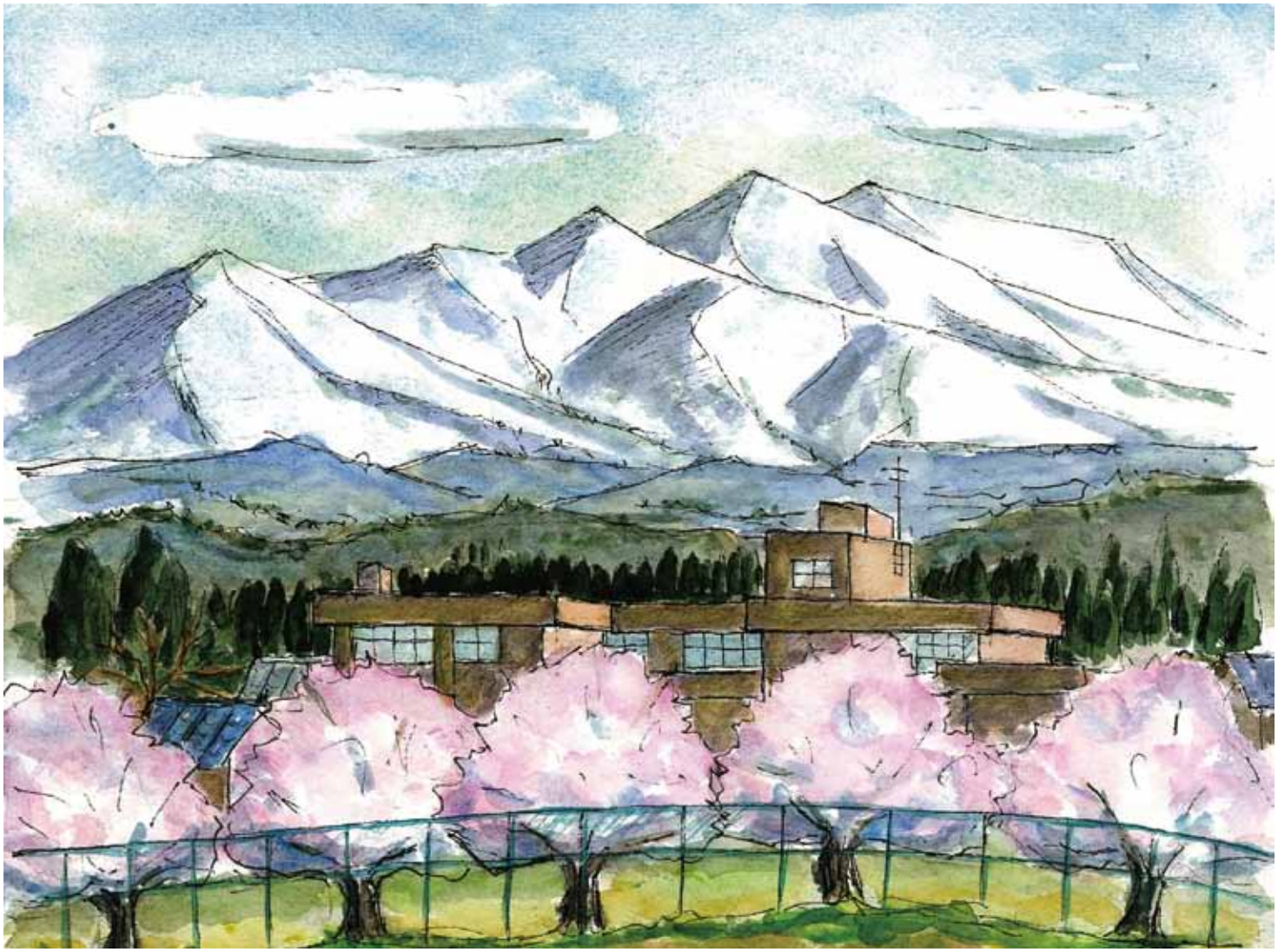
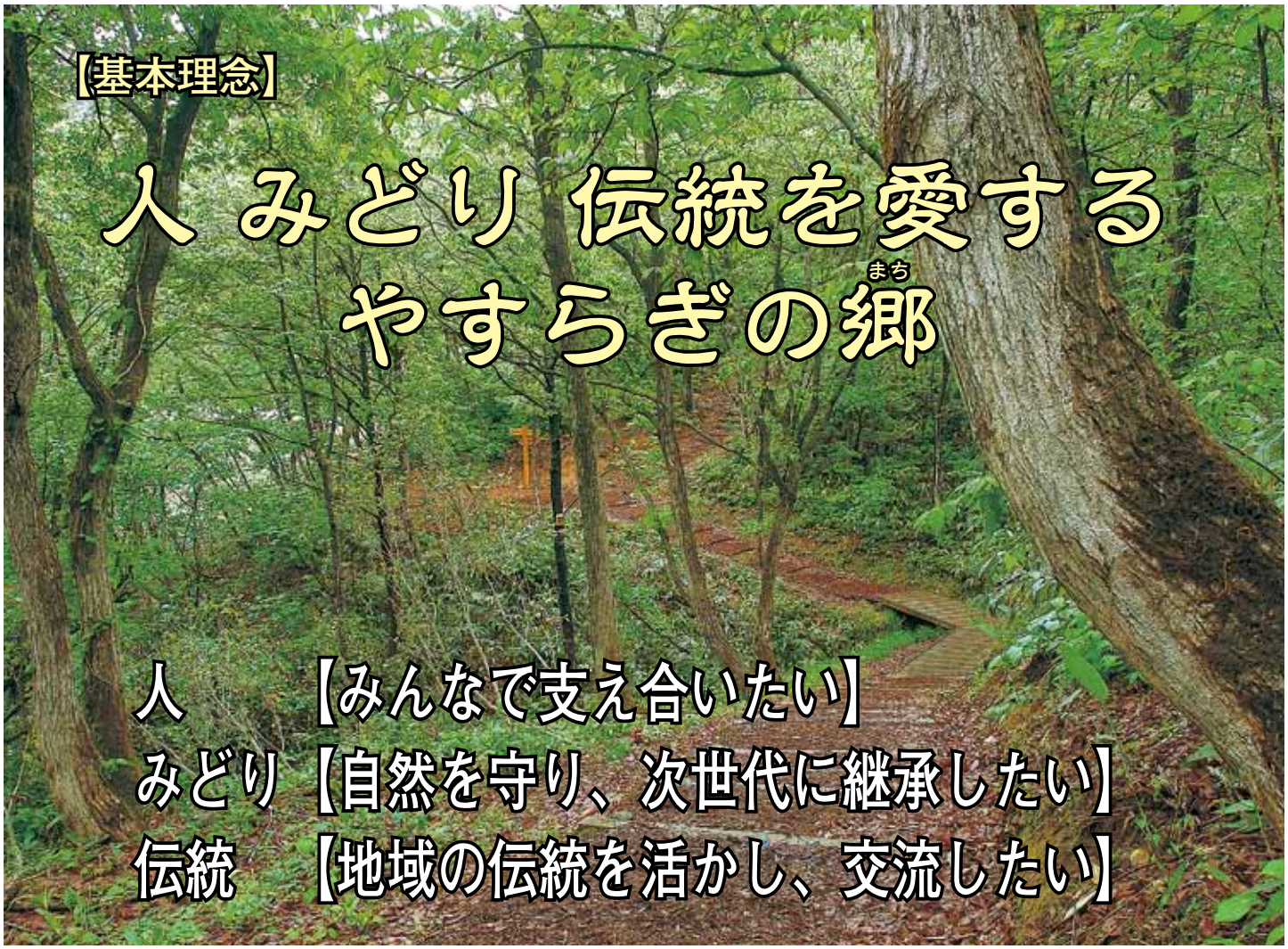
保存版

見附第二小学校区まちづくり計画



見附第二小学校区の住民自らが、地域活動を展開していくことにより、地域課題を解決して目指す将来像を達成し、さらに地域の振興を図っていくための指針として、ここに『見附第二小学校区まちづくり計画』を策定します。



【基本理念】

人 みどり 伝統を愛する やすらぎの郷（まち）

人　　【みんなで支え合いたい】
みどり【自然を守り、次世代に継承したい】
伝統　【地域の伝統を活かし、交流したい】

目指す将来像

1．みんなが仲良く支え合い、地域全体で子どもを見守り、育む郷（まち）にしたい

2．山、森、川など、美しい自然や土地を守り、活かし、育み、次世代に継承していく郷（まち）にしたい

3．地域の歴史や伝統行事を活かして人々が交流し、思いやりと活気あふれる郷（まち）にしたい

地域の課題

1．学童保育がなく、また遊び場の少なさや冬場の通学の問題など子育て環境に不安があるなかで、他地域に転居する若い世代が増えかねない。
2．子どもの数が減少し、学校単位でスポーツ活動に取り組むことや運動チャンスが減って体力が減少してしまいかねない。
3．少子化による児童数の減少により、小学校の存続が危うくなりかねない。
4．地域全体で集まる場所や、また地域全体での交流の機会がなく、人と人の気持ちの繋がりが薄れかねない。

5．若い世代が市街地や市外に居を構えてしまい、空家が増えかねない。
6．人口が減り、高齢化世帯が増える中で、役員になる機会が増えるなど、一人への負担が増え、今の地域の自治の仕組みを維持できなくなりかねない。
7．農業の担い手や里山の手入れに携わる人の減少により、耕作地や里山の荒廃と農業の衰退が進行し、自然環境が悪化し、自然災害を引き起こす原因のひとつになりかねない。
8．役員が１年交代である場合が多く、地域の歴史や伝承の引き継ぎや継承が難しくなってきて、昔からあった行事や食文化がなくなりかねない。

事業の提案

次にあげる事業は、見附第二小学校区の特長をさらに伸ばす事業、あるいは地域の課題を解決し、目指す将来像に導くための事業としてコミュニティ設立準備会において検討したものです。
実際に取り組む事業については、今後正式に発足する見附第二小学校区コミュニティにおいて、この事業を一つの参考にして、さらに検討されていくこととなります。

（１）子育て福祉に関すること
◎学童保育…コミュニティで運営する“子どもたちが集まれる場所と仕組み”をつくる
◎コミュニティワゴン運営・活用事業…2 地区の行き来や行事、冬期間の通学支援

（２）安全環境に関すること
・ごみ不法投棄防止の鳥居事業…ごみの不法投棄を防止する事業を行う
・フラワーロード事業…通学路を中心に道路沿いに花を植える

（３）伝統交流に関すること
・地域合同の交流事業…2 地域合同で行事を行い、地域内の交流を深める

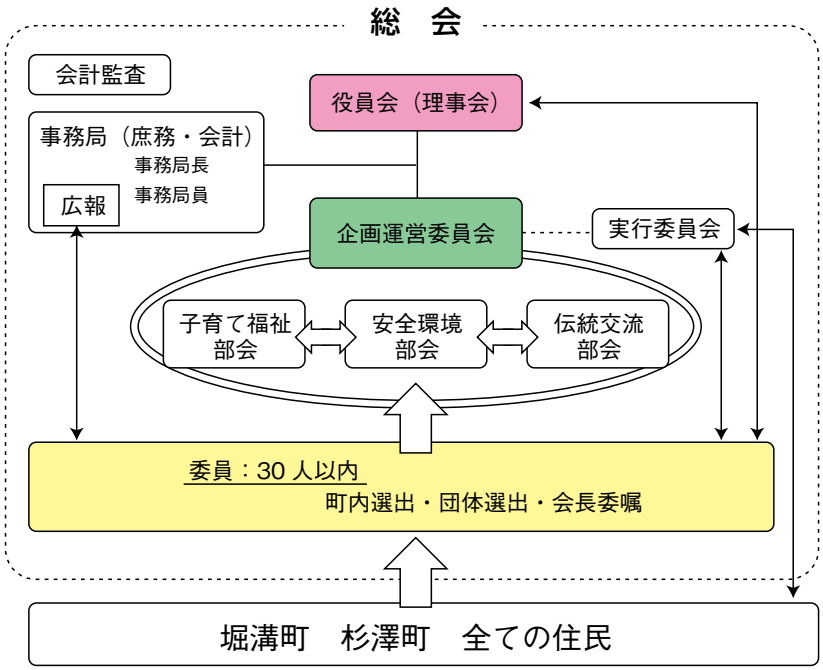
推進体制

見附第二小学校区コミュニティは、地区が抱える課題を解決し、目指す将来像を実現できるまちづくりを推進していくために、次の４つをもっとも大切なポイントとして掲げています。

大切な４つのポイント

- 特定の人だけでなくみんなが参加できる
- 大勢の人が参加し、一人に負担がかからないように連携をとる
- 学童保育や学校を中心に、子どもを大切にしてバックアップできる組織
- バランスの良い、みんなが対等な関係で、住民同士のつながりを大切にする組織

《組織イメージ図》



○委員選出基準

委員の選出は次の通り「町内選出」「団体選出」「会長委嘱」によって行います。

⑴　町内選出　５名
　堀溝町…各１名
　杉澤町１区・２区・３区・４区…各１名

⑵　団体選出　20 名程度
　共　通：第二小学校……1 名
　　小学校ＰＴＡ……1 名
　　教育コーディネーター……1 名
　　保健委員……1 名
　　同窓会……1 名
　堀溝町：消防団、さくら会、
　　ひまわり会、福寿会、
　　子ども会、学友会……各１名
　杉澤町：消防団、杉澤森の会、子ども育成会、
　　白寿会、自主防災組織……各１名

⑶　会長委嘱：まちづくりに欠かせない地域の人材を会長が委嘱する（５名程度）

○任期
　２年（ただし半数ずつ改選し、一度に全員入れ替わらないようにするために、当初から任期をずらします）

○役員の構成

コミュニティの執行部であり司令塔である「役員会」の構成員は次のとおりです。

- 会長…１名
- 副会長 … ２名
  （１名は会長補佐、１名は企画運営委員会長）
- 区長 … ６名
  （堀溝町区長・区長代理、杉澤町１～４区区長）
- 部会長 … ３名
- 事務局長 … １名

○企画運営委員会

３つの部会の調整の場、１つの事業が複数の部会にまたがるときに話し合う場として企画運営委員会を設置します。（11 名）

- 副会長…１名（２名のうち１名）
- 部会長…３名
- 副部会長…６名
- 事務局員…１名

計画策定までの経緯

●地区内２町内で地域コミュニティ懇談会を開催
（H22.4.28 ～ 11.11）

●第１回見附第二小学校地区まちづくり検討会議
（H22.11.15）

・オリエンテーション
・自己紹介を兼ねた、見附第二小学校区の好きなところ、気になるところを発表

●第２回検討会議（H22.12.5）

・見附第二小学校区のまち歩きを行い、地域の歴史や伝統、今の現状の再発見
・ガリバーマップの作成をし、見附第二小学校区の宝物と地域課題について考える

●第３回検討会議（H23.1.20）

・人口データから見る見附第二小学校区の将来の姿について現状把握
・地域コミュニティのメリット・デメリット

●第４回検討会議（H23.2.3）

・現状から見る見附第二小学校区の明るい未来像と気になる将来像

●第５回検討会議「先進地視察」（H23.3.5）

・角田地区コミュニティ協議会（新潟市西蒲区）を視察

●まちづくり検討会議意見交換会（H23.3.8）

●第６回検討会議（H23.4.13）

・これまでの話し合いのふりかえり
・まちづくり検討会議のこれからの進め方について

●第１回見附第二小学校地区コミュニティ設立準備会
（H23.5.18）

・まちづくりの理念についての話し合い

●まちづくりの理念検討会（H23.5.31）

・まちづくりの理念案の作成

●第２回設立準備会（H23.6.8）

・まちづくりの理念について再度話し合い

●第３回設立準備会（H23.6.22）

・地区の現状把握と未来予測
・このまま伸ばしていくと「～なるだろう」という可能性的将来像(+)とこのまま放って置いたら「～しまいかねない」という成り行き的将来像(－)について考える

●第４回設立準備会（H23.7.19）

・理念や地域の将来像に対応して、実際にどんな事業を行うか検討

●第５回設立準備会（H23.8.31）

・地域コミュニティ組織で大切にしたいこと

●第６回設立準備会（H23.9.14）

・地域コミュニティ組織図、委員の選出基準について話し合い

●組織検討会（H23.10.5）

●第７回《最終回》設立準備会（H23.10.21）

・「見附第二小学校区まちづくり計画」 策定

●見附第二小学校区まちづくり計画報告会

・堀溝町（H23.12.）杉澤町(H23.12)に準備会委員により説明

設立準備会委員名簿（五十音順・敬称略）

【メインアドバイザー】長谷川美香、安田文子
【ファシリテーター】下村靖、田中満、明歩谷英樹、若杉リツ
【準備会委員】姉崎隆志（堀溝町）、荒井美穂（堀溝町ひまわり会）、家塚吉太郎（堀溝町）、石月敏（第二小学校ＰＴＡ）、風間久一（堀溝町福寿会）、風間礼子（第二小学校ＰＴＡ）、柏原秀夫（杉澤町）、北村克彦（杉澤町）、北村忍（杉澤町）、北村生子（杉澤町）、北村浩幸（杉澤町自主防災組織）、北村正明（杉澤町）、北村義昭（杉澤町）、北村史行（消防団第２分団第５部）、木津正義（堀溝町学友会）、佐藤秀一（第二小学校ＰＴＡ会長）、品田操（第二小学校教育コーディネーター）、菅井アキ（堀溝町さくら会）、菅井五月（堀溝町保健委員）、菅井佐利（見附第二小学校同窓会）、菅井久（堀溝町）菅井庸吉（堀溝町）、鈴木和子（杉澤町婦人会）、額田厚（杉澤町）、野口淳一（杉澤町子ども育成会）、野口智恵子（杉澤町婦人会）、長谷川武明（堀溝町子ども会）、藤田彰（杉澤町）、藤田千代（杉澤町保健委員）、古川恵美子（第二小学校長）、本間清志（消防団第２分団第４部）、本間貴子（第二小学校教育コーディネーター）、本間達雄（杉沢森の会）、吉田智恵子（杉澤町）、若杉勝美（杉澤白寿会）

☆まち歩き　『ガリバーマップ』☆

堀溝神社が立派！

・神社、道祖神など伝統を伝えるものがある

伊夜日子神社

「昔は土俵もあったのですが今はなくなりました。年とりの晩にはお参りに来る人のために、当番の人が雪をこざいて道をあけています」
（菅井　庸吉さん）

ホタル　（晴れている）
時間帯　午後８～９時
６月中～７月上旬

最終処分場

子どもが仲良く遊んでいた

子どもの遊び場が少ない

・堀溝橋の欄干がない（まだ大きなケガはない）
・堀溝川の側のガードがないところがある

堀溝川

「３月から総体で走り込みを行い、半年間練習しています。地域の皆さんに支えられているので、役に立てるよう心掛けています」
（本間さん）

堀溝消防団など頑張っている団体がある

第２分団第４部
消防倉庫

堀溝町

「ここでできる栗は相当の生産量があり、品質も良く高い評価を受けています」
（菅井　久さん）

通学路

刈谷田川

村松藩道
殿様御休憩所

不法投棄

遊水地建設に伴い長年の懸案だった歩道も完成。
第二小学校の児童が揮毫した
「しもがわらばし」

馬頭観音

池之島町

鮭がいました！

本明町

・人目につきにくい所がある
（不法投棄が可能）
・不法投棄がある
・缶やビンが多くあった
・空き缶等のゴミが捨てられている

・本明川に鮭がのぼる
・自然豊かで鮭が来るほど川がきれい
・本明川に鮭がいた

馬頭観音
やっと意味がわかった

お地蔵さまが多い

不法投棄
どの地区も同じかな？

下の３つのカードは、まち歩き終了後に委員さんから
それぞれ感想を書いてもらったものです。

良い所　　好ましくない所　　似ている所

・環境が似ている
・水芭蕉

二町が離れている

「22ha の広大な森林を有し、水芭蕉も咲くし、越後山脈が見渡せる所もあります。訪れた人は『空気が違う』といいます。ぜひ自然を楽しんでほしいですね」
（柏原さん）

・のどかな感じがした
・山に囲まれている

・杉澤と堀溝はやっぱり遠い
・通学路がさみしい
・通学路に人家が少なく不安
・通学路は車通りが激しいか、まったく人が通らないか極端（いずれも危ない）
・堀溝児童の通学路の安全確保

・自然ゆたか
・ハッチョウトンボ
・自然が多い
・山、川、空気がきれい
・杉澤の森が思ったよりも広い
・希少なものが生息している
・緑が多く残されている

見附杉沢の森

景色が良い

本明川

名誉市民１号
北村一男氏

・歴史の古さを確認できる石仏がある
・杉澤町東と西の入り口を守る石仏

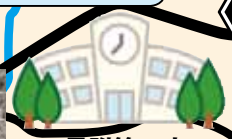
・お地蔵様が多い
・古い石仏がどちらにもあった

杉澤町

子どもが少ない

北村記念公園

210



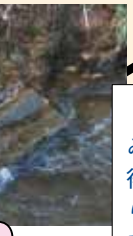
見附第二小

西の道祖神

東の道祖神　「きんか」様
丸く平たい石の真ん中に穴をあけた物をお供えしてあります。これは、耳の遠い人がこの穴のように通じて聞こえるようにと祈りを込めて供えたものです。

杉澤諏訪神社

文納



「３・４年生の授業の取り組みで、２年に一度漁協の協力を得て、また祖父母に手伝ってもらって鮭をさばいて切り身にしています。ここに鮭が来るのは五十嵐川の匂いと似ているからという話もあります。」
（笹川さん）

「中には日清・日露戦争の絵馬もあります。境内は盆踊りの会場となっています」（北村　正さん）

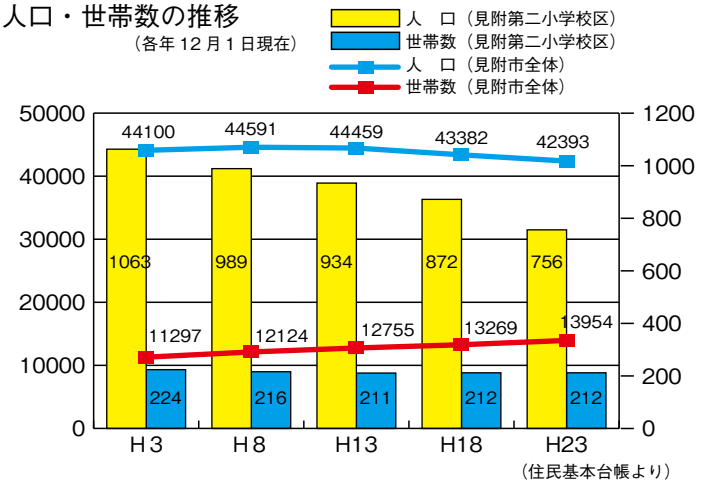
・物知りの方がいる
・神社、道祖神など伝統を伝えるものがある

歴史に詳しい人がいない

道祖神とは…
道祖神は賽の神ともいわれ村境、道の辻、峠などに祀られ、村の中に悪霊や疫病が入り込まないように村を守る神である。しかし、このように村を守る神であった道祖神が、やがて豊作を祈る生産の神へと変わり、そして生産の神から子授け、安産、縁結びの神となり、さらに病気を治す神、招福の神へと変わっていった。

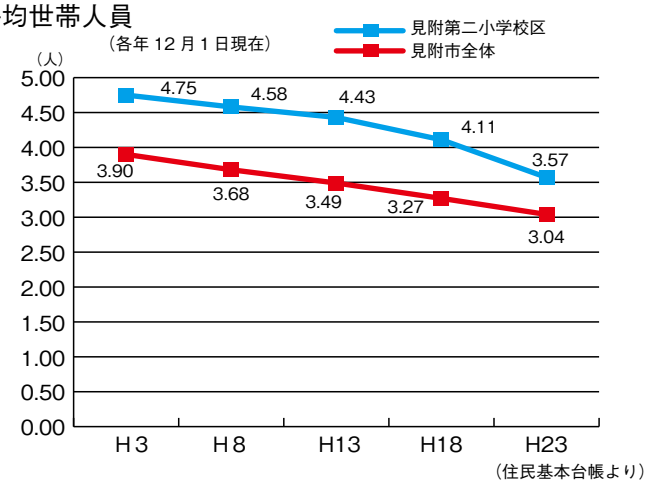
見附第二小学校区データ

人口・世帯数の推移
（各年 12 月 1 日現在）



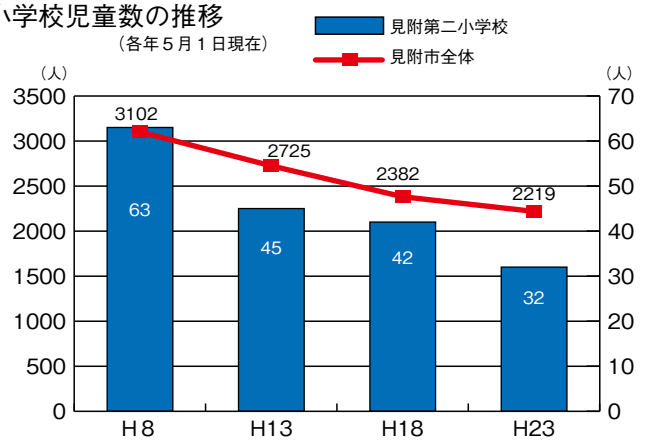
（住民基本台帳より）

平均世帯人員
（各年 12 月 1 日現在）



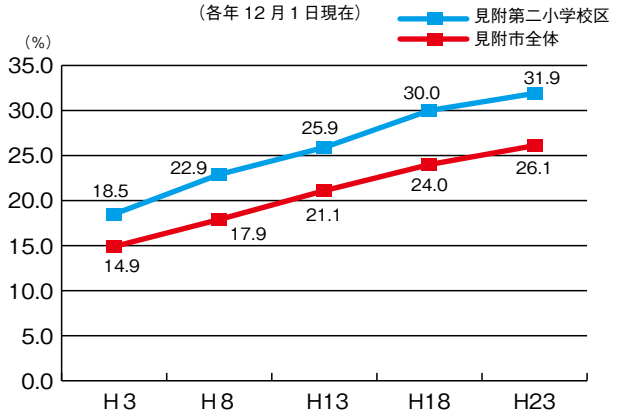
（住民基本台帳より）

小学校児童数の推移
（各年５月１日現在）



（住民基本台帳より）

高齢化率（65 歳以上の人口／全人口）
（各年 12 月 1 日現在）



（住民基本台帳より）

65 歳以上のみの世帯（平成 23 年 12 月 1 日現在）

見附市全体	65 歳以上のみの世帯	2461 世帯	6 世帯あたり 1 世帯
	1 人暮らし世帯	1174 世帯	12 世帯あたり 1 世帯
見附第二小学校区	65 歳以上のみの世帯	43 世帯	5 世帯あたり 1 世帯
	1 人暮らし世帯	25 世帯	8 世帯あたり 1 世帯

（住民基本台帳より）

見附市全体との比較

人口は市全体よりも減少率が高く、世帯数はほぼ横ばいです。平均世帯人員は年々減少していますが市全体に比べるといまだに多い人数となっています。高齢化率は市全体に比べて高い数値となっていますが伸び率は市と同じ程度です。65 歳以上のみの世帯は市全体と比較すると少なくなっています。

表紙画　北村克彦さん（杉澤町）

見附第二小学校区
コミュニティ設立準備会

発行元 / 見附第二小学校区コミュニティ設立準備会
発　行 / 平成 24 年